

和歌山大学
経済学部同窓会

和歌山大学
経済学部同窓会
柑 芦 ニュース



柑芦会本部 事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町
4-4-17-207
電 話 大阪06-6941-4986
F A X 大阪06-6947-7925
印 刷 東洋紙業高速印刷株式会社

経済学部100周年に向けて

柑芦会会長 北村 修一(大18)



ご高承のとおり、2022年10月には和歌山大学経済学部の前身である和歌山高等商業学校が設立されてから100周年を迎えます。柑芦会といたしましても、この意義ある年をお祝いするため、同じ時期に100周年を迎える他大学同窓会の動向も参考にしながら、大学側の取組みに対しできるかぎりのお手伝いをさせていただこうと考えております。そして和歌山大学と経済学部の発展のためにはこれまで以上の支援を惜しまぬ覚悟でございます。

また2026年に100周年を迎える柑芦会自体もこれを機にさらなる発展を期するため、支部活性化支援委員会、WEB対策委員会など、課題別に4つの委員会を組織してその解決に取り組んでおります。さらには、コロナ禍の長期化により従来型の会議や支部総会などが開催できない時代にあって、それらのオンライン化や広報活動へのSNSの活用など各種の改革も進めております。

会員の皆さまにおかれましては、是非ともこの大きな動きに呼応して一人ひとりが持てる知恵とお力をお貸しいただきますよう、お願い申し上げます。

コロナ後の経済と経済学部の役割

経済学部長 マグレビ・ナビル



旧年中はお世話になりました。今年もよろしくお願ひいたします。字数の制約もありますので、早速私の現在考えていることを提供させていただき、ご挨拶に代えさせていただきます。

コロナ対策を強めれば経済危機の可能性も高まります。コロナウイルスによる移動制限は、生命を守るためなのですが、そのことで生計が成り立たなくなる可能性を増大します。日本を含めた全世界で政府によるコロナ対策により、多くの中小企業が破産しなければならなくなるかもしれません。その結果、家庭は貧困に至ります。貧困になるとコロナで症状が悪化する基礎疾患を患う傾向が強くなりますし、健康管理を維持するのも困難になり、そのことで感染リスクや死亡リスクを増大させます。

コロナなどの病気の発生は、単に人間の健康状態だけではなく経済システムの健全性をも試すこととなります。その修復方法は社会的な距離を取りさえすればよいということではありません。いまこそ社会的なセーフティーネットの本質を見直し、金融包摂や経済的な「リスクシェアリング」のフレームワークを考え直すことが必要です。

親愛なる柑芦会の皆様との結びつきによって、専門的な知見や社会的な経験が共有されること「知識・経験シェアリング」で、現在のそしてこれからの学生にとっての強力な道しるべや精神的サポートが得られるものと考えます。現在のように前例のないレベルの不確実性が存在し、学生は大きな不安を抱えています。このような時にこそ、世代間の知識のシェアリングが重要です。

ニューノーマル時代の大学の役割

和歌山大学長 伊東 千尋



柑芦会会員の皆様には、日頃より和歌山大学の教育研究活動に多大なご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の猛威は止まらず、2021年1月現在、11都府県に緊急事態宣言が発出される事態となっています。入試シーズンを迎える大学は、コロナ禍による入試への影響とともに、入試による感染拡大防止の双方に気を配らねばならず、気を休めることができません。

コロナ禍により生じたニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式の中で、ICTを活用した遠隔授業が肯定的にも、否定的にも耳目を集めています。南北の差し渡しが100kmにも達する和歌山県の北の端に位置する本学では、ICTをフル活用した教育活動を進めます。紀南への高等教育の展開や、日常の業務に追われ、新しい知識・情報を学び直す時間が取れない社会人に向けてのリカレント教育は、ICTを駆使することにより、より身近にそして確実なものへと変えていくことができると考えます。

和歌山大学がICTを駆使した全社会人向けの教育を展開することにご期待いただき、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

和歌山大学のブランド力を高める

和歌山大理事・副学長 山本 進三(大39)



この度、伊東学長より同窓会担当(同時に社会連携担当)を拝命いたしました山本進三と申します。経済学部39期(産業工学科)のOBで柑芦会の会員でもあります。どうかよろしくお願ひします。

2020年は新型コロナウイルスの蔓延に始まり大変な1年でありました。感染は未だ収束の目処が立たず、大学経営も今までになく困難な状況が強いられていますが、コロナ禍の逆境以上に懸念されている長期的な問題として少子化による学生の減少があります。このまま手をこまねいて放置していれば遅かれ早かれ受験生の定員割れが始まり、大学全体の学力の低下、ひいては大学の存在が危ぶまれる状況が起こりかねません。そのような事態に陥らないよう、私たちは精一杯の努力をし知恵を絞り、できるだけ優秀でポテンシャルの高い若者に本学を選んでもらえるよう、和歌山大学のブランド力を高める戦略を練っていかねばならないと考えます。

ブランド力を高める手段の一つとして、本学のアイデンティティを高める必要がありますが、アイデンティティを高めるためには何より母校を愛し誇りを持ってくれる学生、OBを今まで以上に増やすことが必要不可欠であると思います。同窓会はその一翼を担う重要な組織であり、OBの皆様の母校愛と社会的な活躍が、ひいては本学のブランド力を高める一助になると確信しております。

柑芦会会員の皆様におかれましては、コロナ禍の中、なかなか活動ができない状況が続きますが、今後とも和歌山大学にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基金室より御礼とご報告

柑芦会の皆様には、日頃より母校和歌山大学の教育・研究へのご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染拡大において各支部総会が中止、または縮小となるなど、お見舞い申し上げます。

以下、書面にて恐縮ですが、柑芦会会員の皆様へ御礼とご報告申し上げます。

本年度5月新型コロナウイルス感染症対応として、学生に対し「本学独自の支援措置」を実施致しました。これまで皆様からご寄付賜りました和歌山大学基金(大学活動支援基金)から500万円を充当させて頂き、申請からわずかな期間で速やかに学生へ給付することができました。誠に有難うございました。

次に昨年度から展開しています70周年事業におきましても、多大なるご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

70周年記念事業の2020年12月末の状況をご報告いたします。

寄附受入状況

2020年10月末現在	922件	92,753千円
(内 柑芦会の皆様)	599件	11,381千円
(一般財団 和歌山大学経済学部後援会様)		30,000千円

活用資金	162,753千円
(内 訳 寄付金)	92,753千円
大学活動支援基金組入	70,000千円

事業計画について

2021年度 松下会館は来年度1期工事として2Fホールから改修にかかります。

2021年度は松下2Fホール改修と、グランド改修とあわせて、計206,000千円の目標額としています。12月末現在で不足額43,247千円です。

パイロット事業について(松下会館改修後おこなわれる事業のひとつ)

リカレント教育パイロット事業について、令和元年度よりデータサイエンス基礎とAI基礎の2講座を、2020年度もデータサイエンス基礎とロボット技術基礎の2講座を開講し、受講生からは好評を得ています。

今年度は、各支部総会がこのコロナ禍で総会を中止される支部が多い状況でした。そこで皆様へお礼と再度依頼の文書を、支部長様の協力のもと郵送させていただき、電話でお礼と寄付のご案内をさせていただきました。お陰様で昨年度と同等以上のご寄付を賜りました。ご賛同ありがとうございます。松下会館改修につきましても、第二期工事もございますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。(基金事務局)

支部だより

和歌山 支部長就任雑感



新型コロナウイルス感染拡大が世界中に及び、未だ終息のめども立たない今日ですが、そんな中で令和2年柑

芦会和歌山支部長を拝命いたしました。昭和31年入学、35年卒業の経済学部八期生です。当時はまだまだ和歌山高等商業学校の雰囲気も残っていて、高松校舎とか、寮生活とか高商から引き継いだ大学だった。

和高商の卒業生は皆さんプライドも高く、そんな雰囲気が濃く残ったのは高松校舎内の寮生ではなかったか。良くも悪くも和高商の雰囲気の残った昭和30年代前半だった。柑芦会も当然先輩との交流、同窓会意識の強い会で、私等は未だにそんな意識は消えません。

いま支部長をお受けし、柑芦会の副会長という立場にたち、その活動内容の様変わりに驚いています。大学の置かれている現状、特に文科省の転々とする方針、国立大学も法人化され、その方針にそった学校運営



を強いられ、学校を取り巻く状況も大きく変わって来ているように思われます。学校も独自の収入を得なければならなくなっているのでしょうか。

経済学部後援会が設立され、大学支援に大いに期待されているところでしょう。大学院生への奨学金制度、留学生支援、クラブ活動支援等々。大学も従来の2学部から観光学部、システム工学部等総合大学化し、経済学部を取り巻く環境も大いに変わって来ています。さて、昨年来の世界的新型コロナウイルス感染症の蔓延により、密を避けることから、どの会議もオンラインとかウェブ会議だとかに変わり、一会場に集まり顔を接しての討議はなくなりました。私のようなガラケー派は大あわてです。パソコンもままならずスマートフォンで窮屈ながらも何とか趣旨だけは得られたようですが、時代の大きな転換期となるのでしょうか。そんな大波の中に支部長・副会長をお引受けして、全く役に立たない自分を痛感し、恥じ入るばかりです。

和歌山大学にも社会人を受け入れる制度が出来ています。これからは社会の変化が大いに続くでしょう。そんな環境の変化に対応するには社会人入学制度を大いに活用し、学び直す事が大切になるでしょう。大学と地域社会並びに大学が一般社会に浸透することなど改めて気付いた次第です。後輩諸君の大いなるご活躍を期待しています。

(和歌山支部長 坂本 漸 大8)

大阪 支部近況報告

大阪支部にとって、いや柑芦会のみならず、日本・世界中が「新型コロナ禍」に振り回された2020年であった。過去形にするのもおかしい。その猛威は2021年になっても、ウイルスは更に強く変異し、第3・4波となって感染拡大を続けている。

大阪支部でも、ほとんど全てのイベントが中止となった。2月の「経済講演会」、7月の「支部総会」、毎月1回開催していた(研究わくわく、ビジネス、いきいき)人生塾、活発であった「趣味の会」(歩く会の「つれもて会」、囲碁の「一木会」、結婚相談室、経済交流会、雑記教室など軒並み休眠を余儀なくされた。

詩吟の「吟詠谷町教室」は感染防止の工夫をしながら一部続行中。



夫馬聡子さん(左)、由井幸枝さん(右)

このように活動報告は少ない中で、事務長の若返りが実現した。

43期由井幸枝氏、47期夫馬聡子氏の2人。話し合いの結果、仕事を2つに分類・分担して、経費が膨らむことを防ぐことにした。事務長は由井氏。

若いチームゆえ、コロナ禍のもと、WEB会議に取り組むなど、支部活動の新スタイルにも積極的に期待度も高い。イベント中止の中での業務引継ゆえ、気の毒な気もするが、会員の皆様の従来にも増したご支援ご協力をお願い致します。

E-メール登録のお願い:

E-メールは「大阪支部メール」以外に「本部メール」があります。どちらに登録しても相互に連携しているのでOK。両メールは毎月1回は発信されていますので、受信していない方は未登録です。支部や本部、大学情報を配信しています。未受信の方々は是非ご登録下さい。メールアドレス: osaka@kourokai.com (大阪支部・副支部長、前事務長 野田真之 大17)

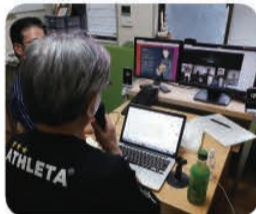
東京 支部活動報告

2020年7月の定例代議員会にて9月26日(土)支部総会の中止を決定しました。その代替イベントとして「オンライン人生塾」を支部総会の開催予定日だった同日の13時から行うことになりました。

「クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太(教育30期) with コロナにおける今後の展望」と題してGoogleMeetを活用しての講演でした。東谷さんは2016年4月の第4回人生塾(損保会館)以来2度目の講演でした。東京支部だけでなく他支部の方もご参加いただき、合計15名の参加となりました。進行役の草場(34期)、操作役の中川(47期)で始まりました。

東谷さんからは9月時点でのエンタメ業界の厳しい状況をお話いただきました。初めてのオンライン会議でチャット機能などを活用した参加者との双方向のコミュニケーションが図れず、至らない点もありました。緊急事態宣言の状況で今後も柑芦会でのオンライン会議の機会が増えていくと思います。

例年、支部総会参加者と年会費を送っていた会員に配布する「柑蘆誌」を11月上旬にメール便



東海 活動状況報告



昨年11月に前任の山口支部長から東海支部長を引き継ぎました、大学25期の垣見です。

生まれは静岡県浜松市。大学卒業後、1977年に中部電力に入社し、以来、名古屋を中心に活動しております。

昨年10月以降の東海支部の活動としては、コロナ流行の間隙をぬって、11月12日に恒例の秋のゴルフ会を、ウッドフレンズ森林公園ゴルフ

にて配送しました。「柑蘆誌」だけでは物足りないと考え、大学、和歌山県東京事務所、OBの方々に提供いただける資料をお願いしました。急なお願いにも関わらず皆様に快く提供していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

- 今回送付した資料は、
- ・柑蘆 第51号(2020年版)(和歌山大学経済学部柑芦会)
- ・和歌山大学解体新書(和歌山大学広報室&基金室)
- ・観光教育研究セミナー2020 Vol.1「スポーツツーリズム5~メガイイベントが日本社会を変える~」(和歌山大学国際観光学研究センター(CTR))
- ・KEITA MUSIC ROOM他(東谷慶太様 教育30期)
- ・和みわかやまっぷ withスタンプラリー(和歌山県東京事務所(萩 さおり様 経済53期)&和歌山県広報課)
- ・ショップ蝶矢鎌倉店、The CHOYA銀座Bar、梅酒のパフレット(チョーヤ梅酒株式会社(金銅 重弘様 経済27期))

2021年度の東京支部総会は9月25日(土)を予定しております。Zoomを利用して他支部の皆様にも参加していただけるイベントにしたいと考えています。

(東京支部長 末廣利明 大26)

場で12名を集め開催。11月18日に新役員による臨時役員会&懇親会を実施。新年の1月20日には、テレビ会議にて常任幹事会を開催しました。また、東海支部では「東海ニュース」を2007年から発行しておりますが、1号から37号までの3年間の「東海ニュース」を、10期の橋本さんのご尽力により小冊子にまとめ、現在、関係者、希望者に配布しております。

コロナ感染の影響で、同窓会活動も制約が多い状況ですが、今後ともよろしく願いいたします。

(東海支部長 垣見祐二 大25)

三重 コロナ自粛下での総会実施

三重支部2020年度総会は、2020年11月21日(土)、津駅隣接の「グリーンパーク津」にて開催されました。新型コロナウイルス感染拡大もふまえ総会の開催を見送ることも検討しましたが、今回は感染対策を講じた上で、講演会や懇親会は行わず総会のみ開催としました。

新型コロナウイルスが感染拡大傾向にあり、本部等のご来賓の方々に参加を自



粛いただいたこともあり、総会参加者は支部長他3名の寂しい総会となりました。

来年度は新型コロナウイルスの騒動も治まり、通常の総会が開催できるような期待したいと思います。

- (三重支部主要役員 敬称略)
- 支部長 井上俊一(大学18回)
- 副支部長 小谷 剛(大学20回)
- 副支部長 太田 均(大学22回)
- 副支部長 水谷正道(大学26回)
- 相談役 春山健児(大学6回)
- 相談役 藤澤真純(大学12回)
- 幹事長 山際雅彦(大学31回)
- 副幹事長 加藤泰三(大学27回)
- (三重支部幹事長 山際雅彦 大31)

神戸 オンラインでの活動展開

2020年はコロナ禍の影響で、支部活動もままならない状況が続きましたが、神戸支部ではこの様な状況下新たな試みをしましたのでそのうちのいくつかをご紹介します。

1. WEB会議システム「Zoom」

体験会実施

・実業の世界では、WEBを活用しての在宅勤務が推進されていますが、同窓会活動においても、リアルでの活動に制限が掛かり、総会や勉強会にWEB会議システムを取り入れる必要が出てきました。そこで、数あるWEB会議システムのうちから「Zoom」を選んで勉強会を開始しました。実業の世界で経験のある大学41期の同窓生にホスト(コーディネーター)をやって頂き7回にわた

り、会員延べ32人の会員が「Zoom」を体験しました。今後とも引き続き勉強会を開催し、出来るだけ多くの会員に体験をして頂こうと考えています。

2. オンライン総会開催

・前述の「Zoom」を活用して、2020年10月9日(金)にオンライン支部総会を開催しました。参加者23名の内訳は13名がパソコン、スマホを使用してリモート参加、10名が神戸元町の会場にソーシャルディスタンスを取っての会議形式での参加となりました。従って、厳密にはオンライン総会ではなく、いわばハイブリッドでの総会となりました。総会では、定例の活動報告、会計報告、次年度の運営方針(案)、会計予算(案)が審議されいずれも異議無く承認されました。総会の後に

は、2016年度の支部総会・懇親会で講演頂いた講師・旭堂南海師匠の「和歌山大学物語」をビデオ上映し和歌山大学経済学部創立の経緯について理解を深めました。

3. ヨガレッスン開始

・コロナ禍で外出もままならず、巣籠状態で鬱々としている状況を打破し、体幹を整え免疫力をアップして感染症等に強い身体を確保するため、会員有志でヨガレッスンを始めました。11月から開始し12月現在まで5回の開催で延べ30人の参加がありました。今後とも引き続きレッスンを継続する予定です。以上

(神戸支部 支部長 平林義康 大20)



Zoom体験会の模様



ヨガレッスンの模様

サイバロン2020大会 第4位

サイバロン2020(世界大会)は、当初5月にスイスで開催予定だった。2020年に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、9月に延期、さらに再延期を重ね、ヨーロッパでの感染拡大により、各国での走行を事前録画し、11月7日(土)の競技会当日に公表するという方式となった。和歌山大学RT-Moversは電動車いす部門で世界4位になり、その報告会が12月22日(火)オンラインで行われた。

中嶋秀明システム工学部教授の「サイバロン2020」報告書には次のように記されている。

RT-Moversはクラウドファンディングによる大学関係団体と個々の基金、地元企業等の支援で参加できたが、大会はコロナ禍で再三にわたり延期され、参加予定のチームの半数が辞退する中、世界各地での分散走行の結果を統合して競い合う方式になった。今回は世界大会に参加した当チーム、例年と違って、各チームが一か所に集い同一条件での競技ができない中、和歌山大会会場においてリモート参加での競技となった。日本ではほかに東京会場(日本未来館)で3チームが走行した。東京会場は在日スイス大使館

が大会運営の中心となっていたため、チームとして大会会場の準備、運営まで担ったのは、日本では当チームだけだった。和歌山大学での走行会場は学生達の手でシステム工学部北1号館1階フロアに設置された。

メンバーはチームリーダーの中嶋秀明教授、パイロットの守田昌功氏は紀州車椅子サービス(有)代表取締役、チームメンバーは博士後期課程2年の前田孝次朗氏、博士前期課程2年の小杉鉄平氏、澤田真氏、システム工学部助教の菊地邦友氏の六名。会場設営には中嶋ゼミの学生全員が運営スタッフとして協力。ネットワークで監視される中での競技、世界の全チームの中での名誉ある第一走者という緊張感から、ハプニングはあったものの、予定より5分遅れでスタートできた。コロナ禍での練習時間の制約の中、第一走から第三走まで時間内に走行できた。結果は所要時間の差により、スイス、ロシア、日本(Fortississimo)、日本・和歌山大学RT-Moversの順で8チーム(走行7チーム)中4位となった。結果のご報告と共に、ご支援いただきました関係者の方々にお礼を申し上げます。(編集部)



「Gateway Saloon 柑芦会」は休止

2020年度は、コロナ禍の影響で、現役学生との交流の拠点としての「Gateway Saloon 柑芦会」を4月から開設していません。

柑芦会 支部一覧表

支部名	連絡先	電話	支部長	幹事長
和歌山	和歌山 山中会計事務所内 和歌山支部 事務局	073-423-1231	坂本 漸(大8)	山中 盛義(大28)
大阪	大阪、奈良 大阪支部事務局	06-6941-4986	奥山 泉(大15)	西本 正人(大23)
東京	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨、長野、栃木 東京支部事務局	03-3366-3680	末廣 利明(大26)	小林 淳(大30)
東海	愛知、岐阜 (有)あずさ監査法人 名古屋事務所岡野 英生様	052-589-0500	垣見 祐二(大25)	岡野 英生(大30)
神戸	兵庫(東播磨、北播磨、丹波以東および淡路) 中原憲造様方	090-3657-8127	平林 義康(大20)	中原 憲造(大25)
京滋	京都、滋賀 和田 壽郎様方	075-581-4120	和田 壽郎(大14)	宮下 剛(大46)
北海道	北海道 田中 廣様方	0145-25-2801(FAX)	田中 廣(大19)	
東北	青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城 菊池 静様方	080-1824-2688	菊池 静(大46)	
北陸	富山、石川、新潟 林 国敏様方	076-205-1916	林 国敏(大41)	
福井	福井 清水 啓司様方	0776-21-8700	江波 庄進(大24)	清水 啓司(大31)
静岡	静岡 澤田 務様方	055-986-5223	澤田 務(大14)	
三重	三重 山際 雅彦様方	0596-72-8025	井上 俊一(大18)	山際 雅彦(大31)
姫路	兵庫(神戸支部以外) 毛利会計事務所気付	079-283-1250	毛利 恵行(大25)	榮藤 雅雄(大31)
岡山	岡山 本多 康重様方	090-4840-2565	真下 義則(大15)	本多 康重(大17)
広島	広島 山本 正博様方	0829-55-0872	山本 正博(大11)	
山陰	島根、鳥取 友定 雅紀様方	090-5696-0212	吉村 政憲(大17)	友定 雅紀(大24)
山口	山口 宮本 高司様方	0838-26-8523	宮本 高司(大24)	橋本 尚明(大26)
徳島	徳島 三村 清美様方	090-1578-7941	多田 昭弘(大26)	三村 清美(大36)
高知	高知 西川 博様方	088-833-7274	西川 博(大21)	
香川	香川 山上 武司様方	087-847-3185	島田 新市(大22)	梶 正司(大31)
愛媛	愛媛 三浦工業(株)内	089-979-1230	門屋 孝博(大35)	
九州	九州全県 石川 和彦様方	090-1876-1674	石川 和彦(大19)	
沖縄	沖縄 當真 一男様方	098-932-2787	當真 一男(大28)	大城 直輝(大46)
北米	アメリカ 6 Teramo Ct. Newport Coast, CA USA 92657	213-610-7578	田中 昌平(大19)	西川 謹爾(大1)
(大学) 学部支援室 経済学部分室長 長谷 浩 (会長) 北村 修一(大18) (事務局長) 浦 義弘(大17)				

2020年度寄付講義「現代経営実践論」の中止とリモート配信「就活学生向け応援メッセージ」の開催報告

現役学生の将来の進路検討や「職業観の醸成」を目的とした、柑芦会から大学への寄付講義「現代経営実践論」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、残念ながら中止になりました。

2020年度は、リモート配信「コロナ時代の就活学生向けの応援メッセージ」と題して、8月から柑芦会メンバーに向けて講師の公募を開始しました。講義内容は、所属の業界、企業の現況、ご自身の仕事の内容、社会や企業の求める人物像、応援メッセージなどをパワーポイント資料にまとめ、音声をつけて、10分間程度にして提出してもらい、大学がオンデマンド授業として、10月から翌年の3月末まで配信し、この間何回でも見られるような授業となりました。

おかげさまで、10月までに4名のOBから提出があり、その後1名の方が参加され、大学側から授業として配信されました。

講師として素晴らしい「応援メッセージ」を提出されたOBの皆さんをご紹介します。

- ① 大学・7期 岩井 定敬 様 (元 丸紅)
- ② 大学・55期 中川 健太 様 (元 南海電鉄)
- ③ 大学・55期 來住 貴宏 様 (株電通)
- ④ 大学・61期 倉田 優美 様 (スズキ株)
- ⑤ シス工3期 秦 裕史 様 (BB労務管理ソリューションズ 代表)

お忙しいところ、「応援メッセージ」を作成していただき、誠にありがとうございました。

柑芦会としても、今後とも現役学生の就職支援をより充実させていきたいと考えております。

(柑芦会 学生支援委員会 委員長 西本 正人 大23)

**バーチャルで開催した
和歌山大学産学連携イノベーションセンター「交流会」**
和歌山大学 理事・副学長・産学連携イノベーションセンター長 恵下隆

和歌山大学産学連携イノベーションセンター(以下、本センター)では、産官学連携による地域産業の活性化への貢献を1つの柱として活動しています。本学の研究シーズを地域の企業等の方に知っていただくために、毎年企業の方などをお招きして、本学の研究室を見ていただき、研究者と交流していただく“交流の場”を開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症により、対面での“交流の場”の開催は困難な状況でした。そこで、新しい試みを取り入れて、昨年12/8にすべてオンラインで開催しました。すべてオンラインで開催するために、いくつかの新しい試みを取り入れました。ひとつは、学外の企業の方による講演と、この講演者、和歌山県、和歌山市の行政の方、本学学長でパネルディスカッションを行いました。また、例年行っている実研究の紹介を、動画によって行いました。

講演は、昨年企業家を育てるための”インキュベーションセンターを開所されたノーリツプレジジョン株式会社代表取締役社長星野達也様(写真1)、市内で電動バイクの企業を立ち上げたglafit CEOの鳴海禎造様(写真2)にお願いしました。星野様のご講演では、事例紹介および産学連携における注意点は大変参考になりました。また、鳴海様は、高校生のときから独力で企業を起こしてきたユニークな体験をお話いただきました。鳴海様にご講演をたのむのは、アントレプレナーシップ教育を本センターのもう一つの柱としているためです。

パネルディスカッションでは、和歌山県で産業の育成に携わっておられる商工観光労働部企業政策局長寺本雅哉様(写真3)、和歌山市でSDGs

活動に携わっておられる総務局企画部企画課副主査滝本智史様(写真4)、本学の伊東千尋学長で、「ウィズコロナ時代の産学連携」について討論する予定でした。残念ながら、私の時間管理がまずく、肝心な本題については十分な討論できずに終わり、今後の課題となりました。

ウェブの交流会にして良かった点は、例年より多い50名を超える方にご視聴をいただけたことです。柑芦会からも北村会長、浦事務局長にもご視聴いただきました。後日北村会長から、前述のパネルディスカッション等の不備についての確なご指摘をいただき、大変ありがたく感じました。

本稿の話題から逸れますが、アントレプレナーシップ教育の一貫として、柑芦会から香村賞としてビジネススピーチコンテストを支援いただいています。昨年からは、柑芦会の若手OB/OGが中心となり、起業家志望学生への支援をお願いする為に“OGO Meetup”を立ち上げました。残念ながら、今年度はこの新型コロナのために、この催しができませんでしたが、来年は活動を開始したいと考えています。今後ともご支援をいただけると幸いです。



1. ノーリツプレジジョン(株) 代表取締役社長 星野達也様
2. glafit CEO 鳴海禎造様



3. 和歌山県商工観光労働部 企業政策局長 寺本雅哉様
4. 和歌山市総務局企画部 企画課副主査 滝本智史様

香村賞 2020年度(第11回)香村賞審査会実施さる

2020年度(第11回)の香村賞の審査は、12月18日(金)13:30から和歌山大学産学連携イノベーションセンター(北4号館)で行われました。

応募は「ビジネスアイデア」部門12件(29名)と新設の「起業実践」部門1件(1名)計13件(30名)で、1件当りプレゼン6分・質疑5分の審査で行われました。他に2社から企業賞が贈られました。

審査結果は下記の通りです。

「ビジネスアイデア」部門

- 優秀賞 「位置で重なるお出かけメモアプリ Dropy」
システム工学部4年 山内響太
- 準優秀賞 「お気に入りを持ち出そう!紙袋のためのクリアカバー」
経済学部3年 高橋菜々子、殷思懿、朝倉結香子
- 奨励賞 「エキチャク~「今から帰る」を自動でお知らせ~」
経済学部3年 寺田修造、橋本健太、溝口裕
- 奨励賞 「tenkyuubi (サンキュー+定休日=テンキュービ)」
システム工学部3年 川田祐輝

「起業実践」部門

- 敢闘賞 「ファンコミュニティ型ゲストハウス」
観光学部2年 井上佑輔

企業賞

- 紀陽情報システム賞「稲村の火になろう」
システム工学部3年 田中桂央
 - 同上賞 「お気に入りを持ち出そう!紙袋のためのクリアカバー」
(受賞者名は前記に同じ)
 - ラック賞「稲村の火になろう」(受賞者名は前記に同じ)
- 審査員は下記の方々(10名)です。
- 大学 伊東学長、恵下理事、山本理事、マグレビ学部長、本庄講師、似内副センター長
 - 柑芦会 北村修一、東海秀明、渡邊豊、山口しのお
- 審査会の後、交流会・授賞式が行われました。(柑芦会本部事務局)



柑芦会では、各種電子媒体の活用により「参加型の広報」活動を展開しています

まずは「柑芦会ホームページ」にアクセスしてください。柑芦会本部や各支部、和歌山大学の最新情報が手に入るだけでなく、各支部や地域のイベント情報、クラブやゼミのOB会の案内等をあなたから「発信」もできます。また、毎月定期的に「メルマガ」で情報を発信している支部もありますので、是非あなたのアドレスを登録(変更した場合は再登録)してください。さあ、あなたも「参加型の広報」を活用しましょう!

利用目的	利用方法	メリット・特長
①本部や各支部のイベントや、所在地・連絡先・役員名などの情報が見たい	【柑芦会ホームページにアクセスする】 ・パソコンやスマートフォンから: ①インターネットに接続し、検索エンジン(GoogleやYahooなど)を開く ②「こうろかい」(ひらがなでOK)と入力し、検索する ③検索結果一覧の中から「和歌山大学経済学部同窓会柑芦会」をクリックする	・公式ホームページのため、会則や各支部の所在地・連絡先などを知ることができる ・各地の支部総会ほか各種イベントのほか、クラブやゼミの情報なども随時掲載されている ・イベントの記録などは、過去の実績も検索しやすい
②本部や各支部や和歌山大学のイベントやお知らせなどの「最新情報」が見たい ③各種の投稿に対して自分の意見も言いたい ④各支部やクラブ・ゼミのOB会などの案内を投稿したい	【フェイスブックの「柑芦会オフィシャルページ」にアクセスする】 ・パソコンやスマートフォンから: ①上記「柑芦会ホームページ」のトップページで、「フェイスブック」という青色文字をクリックする ②「グループ」を選択しクリックする(スマホの場合は、画面の「QRコード」を読み込ませてもよい) ③「メンバーリクエスト」をして管理者の承認を得る ※「オープンフェイスブック」を選択した場合は、柑芦会や和大関係者以外も閲覧・投稿できるオープンなサイトにつながります	・投稿者が全国におられるため、「ホームページ」よりは頻りに情報が更新されているので、「最新情報」が得られやすい ・メンバーになると、閲覧だけでなく、記事や写真の投稿もできる ・柑芦会や和大関係者のみが閲覧・投稿できる非公開グループなので、安心して利用できる
⑤本部への問い合わせや、住所・メールアドレスの登録・変更などをする	【柑芦会ホームページにアクセスする】 ①上記「柑芦会ホームページ」のトップページで、「メールの登録や各種お問い合わせ」をクリックして、必要事項を記入し、送信する	・各種イベントへの「参加申し込み」もできる ・転動や迷惑メール対策でアドレスを変更した場合も、知らせておけば、「柑芦」誌や「柑芦ニュース」、メルマガなどが届く

授業実施状況の報告と今後の予定

経済学部の2020年度後期の授業科目は演習系科目の一部で対面授業が開催されましたが、すべての学生が教室に来るということではなく、さらに講義系授業科目はほぼすべてが遠隔で行われました。遠隔での授業方法は、同期型(オンタイム)での授業と非同期型(オンデマンド)での授業に分かれます。講義系科目のほとんどは非同期型で行われました。

大学全体の状況については、文部科学省から公表された資料があります。旧高商系の大学における授業実施状況をピックアップした結果は次です(2020年12月23日公表)。

経済系は、大教室を利用した授業がどこの大学でも一般的(グローバルスタンダード)です。文部科学大臣は届いたメールから対面授業の実施を求めています。1月に学生自治会が行った和歌山大学のアンケートでは、対面授業でのコロナ罹患に対する不安の声、対面授業によるアルバイト収入減の中での通学による負担の声が見受けられます。埼玉や横浜国立などの首都圏の大学では、遠隔授業に対して学生が好印象を提示しています。自由な時間を使うことができること、遠隔授業で学修効果が上がっていること、首都圏であることから他人とのコミュニケーションを大学外でも取りやすいことなどが原因と思われる。

和歌山大学経済学部で昨年行ったアンケートでは、特に1年生から対面授業希望の声が多くありました。大学に入り新たな学友と知り合える機会が奪われることは確かに問題です。そこで2021年度は1年生、そして2020年度に1年生だった、2年生が履修する演習系科目は対面で行う予定です。学友とめぐり合う機会を提供したいと考えています。一方で講義系科目は変わらず非同期型の授業になりそうです。

文部科学省が要求するハイブリッド型(対面と遠隔)の授業は、システムへの負荷の問題があります。少なくとも和歌山大学では、同時に一定数を超える学生がオンラインで行われる授業の動画配信を受信することはできません。自宅から見ていただくことはできます。このように大学に来る学生を制限し、かつ授業実施方法も分散化させないと、そもそも学生に授業を提供できません。(経済学部 教務委員長)

学校名	授業形態	対面比率	学生認識
小樽商科大学	遠隔対面併用	3割	ほぼ全員理解
福島大学			
埼玉大学	遠隔対面併用	ほぼ遠隔	ほぼ全員理解
横浜国立大学	遠隔対面併用	ほぼ遠隔	大多数が理解
信州大学	遠隔対面併用	5割	
富山大学			
滋賀大学			
和歌山大学	遠隔対面併用	3割	大多数が理解
山口大学			
香川大学	遠隔対面併用	5割	
佐賀大学	遠隔対面併用	5割	
長崎大学	遠隔対面併用	5割	
一橋大学	遠隔対面併用	3割	大多数が理解
大阪市立大学	遠隔対面併用	3割	大多数が理解
神戸大学	遠隔対面併用	3割	大多数が理解

コロナ禍における大学の状況 学務課より(2021年1月25日現在)

●授業の状況

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため、本学では前期・第1クォーター授業開始の延期、授業期間を成績評価期間含め16週から14週に短縮するなど学年暦を見直しました。授業実施も学生のインターネット受信環境を調査し、受信環境が不十分であればWiFi設備のある大学教室を受講用に開放の上、原則遠隔授業へ切替えた授業のみで第1クォーターから開始し、第2クォーターからは実験・実習科目や卒業研究指導など一部対面授業も行うなど、各種対策を施し、大学教育を進めてきました。

後期・第3クォーターについても、授業開始は当初予定の10月より開始できたものの、昨年12月より東京・大阪界隈を始めとする急激な感染者拡大や大学入試共通テスト前の緊急事態宣言を受け、実験科目や卒業論文指導等止むを得ない科目以外の対面授業を急遽、遠隔授業に切替えて授業実施期間における授業を終了したところでした。

科目開設の状況については、前期(7月)開設科目数では遠隔授業76.1%、対面授業23.9%(一部遠隔併用科目を含む)であったものが、後期(10月)開設科目数は遠隔授業63.8%、対面授業36.2%(一部遠隔併用科目を含む)となっており、後期からは対面授業実施の強化が進んでいます。

コロナ感染症対策も、手指消毒や換気の徹底はもちろんのこと、3密(密閉、密集、密接)回避を始めとする教室の収容数見直しや、建物や教室へのアルコール消毒液などの配置、学生への衛生管理や行動記録作成の周知、教室等の清拭作業の実施といった対策を行っています。

●2021年度4月以降の授業の予定

次年度の新型コロナウイルス感染症拡大の状況は見通せませんが、収束

の可能性も踏まえて2021年度学年暦は4月初日から例年通りの授業実施を予定しています。しかしながら、前年からの新型コロナウイルス感染者数の急拡大、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言以降の感染拡大状況を注視し、必要であれば授業開始までに変更することもあります。

授業実施方法については、感染状況を踏まえつつ遠隔・対面・併用等、適切な授業方法による効果の最大化を各学部・研究科等で検討中です。

授業期間 前期、第1、2クォーター 4月12日～8月11日

後期、第3、4クォーター 10月1日～2月14日

ガイダンス・学生相談 4月4～7日

授業回数 90分授業×15回(クォーター科目は7.5回)

授業実施時間 9:10～19:40の間で6時限(1時限90分)

●入学試験

2021年1月16・17日に初めての大学入学共通テストが行われ、本学担当の和歌山大学試験場、県立向陽高等学校試験場合わせて、2千名を超える志願者が試験に臨まれました。

引続き、次のような入試が予定されています。

1月30・31日 大学入学共通テスト(2)及び追試験

2月25日 一般選抜(前期日程)

3月12日 一般選抜(後期日程)

3月22日 追試験(前期日程・後期日程)

●卒業式及び入学式

次のとおり開催予定です。

卒業式 日時:2021年3月25日(木)10時30分～ 場所:和歌山市民会館

入学式 日時:2021年4月5日(月)11時00分～ 場所:和歌山市民会館

2020年度の入学者向け入学式も同日の午後に行われる予定です。

現在の就職状況

68期生(2021年3月卒業予定者)対象の就職活動は、以前から2020年夏開催予定であったオリンピックの影響を受け早期化する、といわれていました。そのため、3年生夏～秋冬インターンシップに積極的に参加し早々から業界・仕事研究を行っていた学生の中には、緊急事態宣言が出る前に内定を得た人もいました。しかしながら、多くの学生は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けることになりました。例年3月上旬に行われる和歌山大学での学内合同企業説明会はすべて中止。基本的に対面での説明会や面接は実施されず、緊急事態宣言が発令されている中での就職活動はほぼオンラインに切り替わりました(経済学部キャリア支援室の相談業務もすべてオンラインで実施しています)。地方国立大学の学生にとっては、東京・大阪への移動時間や交通費が不要となりメリットもありましたが、職場の雰囲気やわからない、対面で会えないことによる情報不足で気持ちを決めることができない、との相談が多く寄せられました。一度も職場に足を運ばず、進路決定を迫られる場面も多くあり、学生たちの苦勞も多かったように思います。前例のない中での就職活動に挑んだ学生5名に1月上旬、1年生対象キャリア講義の中でパネリストをお願いしたのですが、試行錯誤しつ

つそれを乗り越えたエピソードをしっかりと聞かせてくれ、非常に頼もしい姿を見せてくれました。就職内定率は例年98～99%で推移していますが、1月末現在96%となっています。また、進路決定満足度も例年は9割以上の学生が満足・やや満足と回答していますが、2020年度は85%程度に留まっています。この春から新社会人として頑張ってくれることを祈るばかりです。(経済学部キャリア教育担当 本庄麻美子 46期)

2020年10月24日(土)「第10回和歌山大学ホームカミングデー」の中止と「バーチャルホームカミングデー」について

和歌山大学ホームカミングデーは、毎年10月の第4土曜日に開催してまいりました。

2020年度は、コロナ禍により一堂に会しての実施は中止となりました。

本来のホームカミングデーの代わりとはなりません。少しでも今の和歌山大学の風や教育・研究について少しでも感じていただけたらと思います。[バーチャルホームカミングデー]として、和歌山大学のホームページ上で発表されました。

2020年度 課外活動状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響下に於ける学生生活への大学対応
学務課 脇田淳一

【課外活動】

まずは、学生への感染拡大を防ぐため、学生の課外活動等(練習、対外試合や合宿、ライブ等催し物、懇親会、コンパ等)について自粛等の要請を行ってきました。

- (11月27日発表) 11月26日、罹患学生1名を確認したため、全学生団体の課外活動の一時(11/27~11/30)停止を通達
- (11月28日発表) 11月28日、新たに罹患学生3名を確認したため、全学生団体の課外活動の一時(11/28~12/1)停止を通達
- (11月30日発表) 教学担当理事名で訓示。新型コロナウイルスに感染しない、感染させないように行動すること要請
- (12月1日発表) 安全確認のとれた学生団体に対し、活動再開を許可
- (12月4日発表) 大阪府において12月15日までの不要不急の外出自粛を呼びかける「医療非常事態宣言」が発出されたことを受け、全学生団体の活動を12月15日まで禁止
- (12月15日発表) 大阪府において12月14日、不要不急の外出自粛期間延長を受け、本学の学年暦を考慮し、全学生団体の活動を令和3年1月5日まで禁止を延長
- (1月5日発表) 感染拡大が一向に止まらないため、本学の学年暦を考慮し、全学生団体の活動を2021年1月18日まで禁止を再延長
- (1月13日発表) 関西3府県を含む全国11都府県に対し、再び緊急事態宣言が発出されたことを受け、全学生団体の活動を2021年2月7日まで禁止を再々延長

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、大学が実施する課外活動の停止のほか、各連盟等が行う大会中止・延期の影響を受け、2020年度は、ほとんどの学生団体が試合等に出られなくなりました。主な大会名等は、別添のとおり。

なお、各種イベントの中止・延期に伴いキャンセル料等の負担が生じた学生団体が多数あり、大学からその一部を支援しました。(延べ16団体に約150万円を支援)

このような状況ではありますが、コロナ禍であっても活躍してくれたクラブもあります。硬式野球部とヨット部です。

硬式野球部は、近畿学生野球連盟秋季I部リーグ戦において、準優勝を果たし、個人では、経済学部3年白石雄大さんがベストナインに、同じく経済学部4年土田雄大さんが敢闘賞に選ばれました。



ヨット部は、2020年10月10日・11日新西宮ヨットハーバーで行われた「令和2年度関西学生ヨット選手権大会(関西インカレ)」において、470級第2位、総合第3位の好成績を収め、10月29日から11月3日にかけて行われる全日本学生ヨット選手権大会に出場。結果は、17位/24大学でしたが、大いに健闘してくれました。



また、関西インカレの前週に行われた、関西学生ヨット個人選手権大会で村瀬慎太郎(経済学部3年生)・犬伏亮太(経済学部1年生)ペアが3位入賞を果たし、全日本学生ヨット個人選手権大会に出場いたしました。

【GOTOワダイ】イベント

コロナ禍ではありましたが、1年生を対象としたイベント『GOTOワダイ』を企画し、開催しました。僅かではありますが、学生のストレスを緩和できたと思います。

中止となった和歌山大学祭の日程(11月21日・22日)を活用し、上級生に企画を依頼。本学に入学したのに中々大学構内に来る機会がない1年生に「友達づくり、仲間づくり」をテーマに交流会、文化会、体育会、音楽鑑賞等様々なイベントを実施。

1年生906名のうち、約55%の497名が参加。



団体名	イベント・大会名	開催日時	参加予定人数	会場	イベント実施結果
会計学研究会	無				無
混声合唱団	①団内発表会	12/13(日)	50名程度	和歌山市民会館市民ホール	中止
	②ホームカミングデー(オンライン)		6名	大集会室	参加
交響楽団	①プロムナードコンサート	5月17日(日)	50名程度	サラダホール	中止
	②定期演奏会	12月6日(日)	50名程度	和歌山市民会館	中止
吹奏楽団	定期演奏会	12月12日(土)	50名程度	県民文化会館	中止
マンドリンクラブ	①夏合宿	9/19(土)~24(木)	36名(うち外部指導員3名)	雑賀崎 潮風荘	中止
	②定期演奏会	12/5(土)	41名(増加あり)	和歌山県民文化会館	中止
	③団内発表会	12/13(日)	30名程度	サラダホール	中止
軽音楽部	①秋季団内演奏会	11/7(土)11/8(日)	1日につき最大30名	第5練習室	実施
	②GOTOワダイ	11/21・22	31名(21日)16名(22日)	和歌山大学	実施
	③定期演奏会	12/5(土)	63名	和歌山県民文化会館小ホール	中止
流行音楽倶楽部	①合宿代替イベント	9月下旬の1日	32名	未定	中止
	②定期演奏会	12月下旬	32名	和歌山県民文化会館	中止
	③GOTOワダイ	11/21・22		和歌山大学	実施
絵画部	GOTOワダイ	11/21・22	3名(21日)1名(22日)	和歌山大学	実施
文芸部	GOTOワダイ	11/21・22	作品配架のみ	和歌山大学	実施
STEP(知的障害児余暇活動支援)	おくま子ども会(お手伝い)	11月15日	7名	河南コミュニティセンター	参加
mycom	GOTOワダイ	11/21・22	9名(21日)5名(22日)	和歌山大学	実施
プラットフォーム(不登校支援)	子どもたちの行事	10月17日(土)~18日(日)、12月第一もしくは第二日曜日(現時点では未定)	12月第一もしくは第二日曜日(現時点では未定)	10月:未定 12月:生協第一食堂を予定	中止
将棋部	無				
写真部	撮影会	8/12(火)17:00~	4名	大学構内	実施
演劇部	公演	11~12月のどこかで	新入部員含めた演劇部員	和歌山大学の大会集室またはサークル棟第4練習室	12/4以降活動禁止のため中止
邦楽部	無				無
ESA	無				無
茶道部	無				無

【学生寮】

本学学生寮は、3棟(男子寮2棟・女子寮1棟)あり、鉄筋5階建て昭和62年に建築されました。

個室は、男子120室、女子50室あり、エレベーター、風呂、洗面所、お手洗いは共同、食堂はなく、簡単な捕食室があるのみです。

本学においては、最も感染拡大リスクが高く、少しでもそのリスクを下げるため、寮内で罹患者がした場合の濃厚接触者退避場所を男子寮1Fフロアに12室、女子寮1Fフロアに10室確保。寮の出入口を濃厚接触者とそうでない寮生を完全隔離するために施設を改修し、シャワールームを設置しました。



【外部からのご支援】

和歌山大学消費生活協同組合様から「コロナ禍で困窮する大学生に食を支援」するためにレトルトカレーなど食品を2,000名(和歌山大学生に1500食、和歌山県立医科大学生に500食)分を用意していただき、大学寮生全員と大学生協に来た学生に無料配布いたしました。(2021年1月20日(水)から来場学生に配付しました)

